

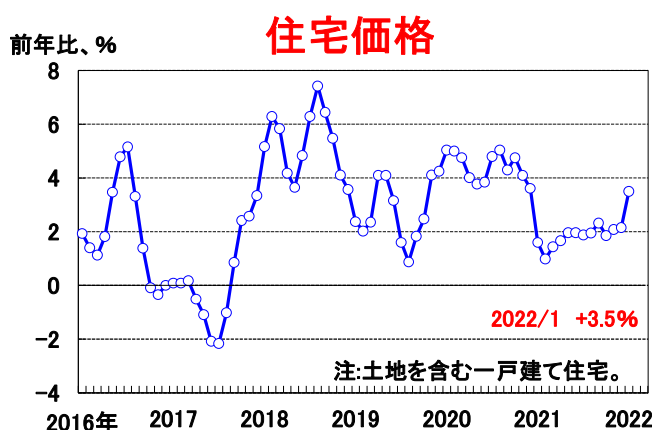
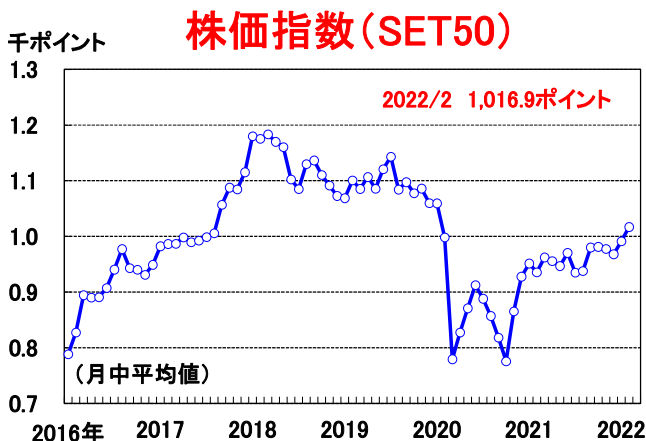
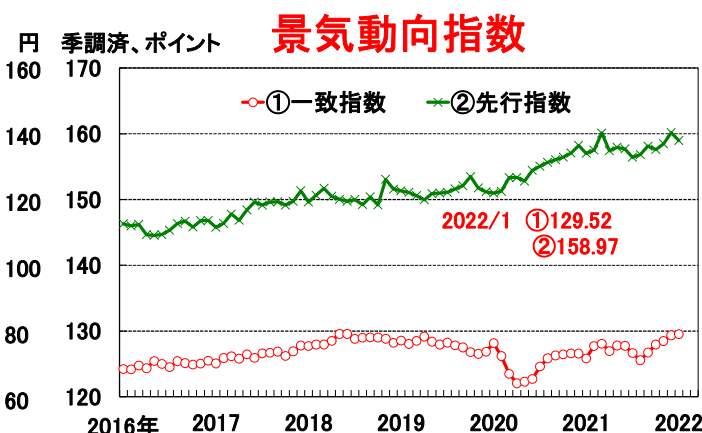
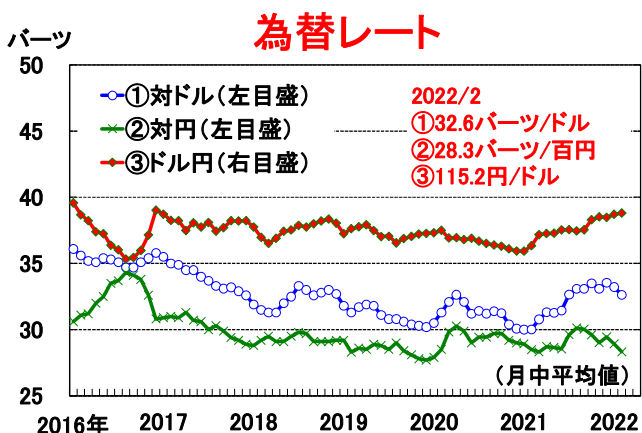
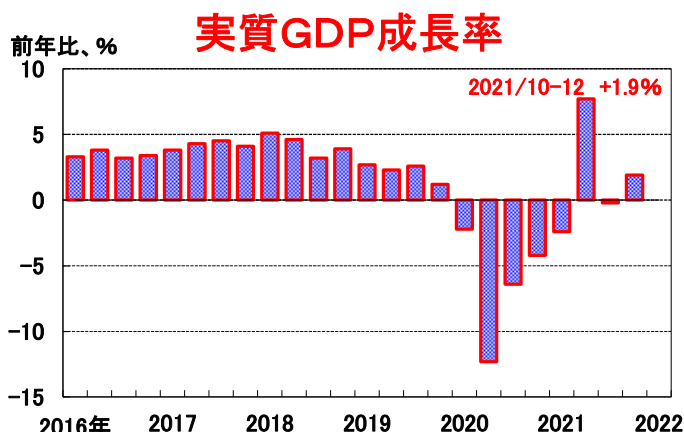
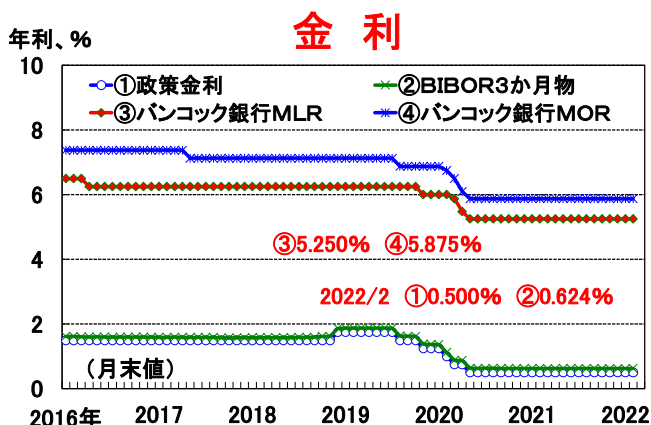
グラフで見るタイ経済 2022年3月号(No. 153)

2021年10～12月期のタイの実質GDP(国内総生産)は前年比+1.9%(前期は同-0.2%)と、成長率が前年比プラスに転じた。もっとも、2022年1月からのタイ国内におけるコロナ感染の再拡大などにより、タイの景気は足元で弱い動きがみられる。1月の主要経済指標をみると、工業生産指数は98.0と下落し、また輸出も前年比+8.0%と21年3月以来の低い伸びとなった。個人消費指数は138.6と下落した。こうした中、タイ政府は同月下旬に生活必需品の購入補助金支援や低所得者向けの補助金支給といった個人消費拡大策を公表した。

【足元の景気判断】

指標	景気全般	輸出	民間投資	個人消費	鉱工業生産	企業景況感
判断結果	→	→	→	→	→	→

(注) 矢印は概ね3か月前との比較。青の矢印は改善を、赤の矢印は悪化を、白の矢印は横ばいを表している。

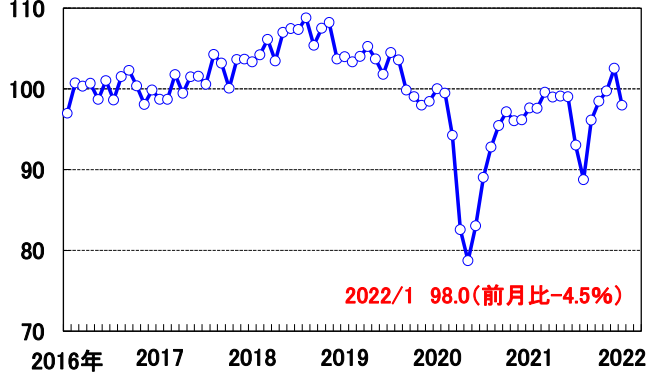


(出所) タイ中央銀行、タイ国家経済社会開発委員会 (NESDB)、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。

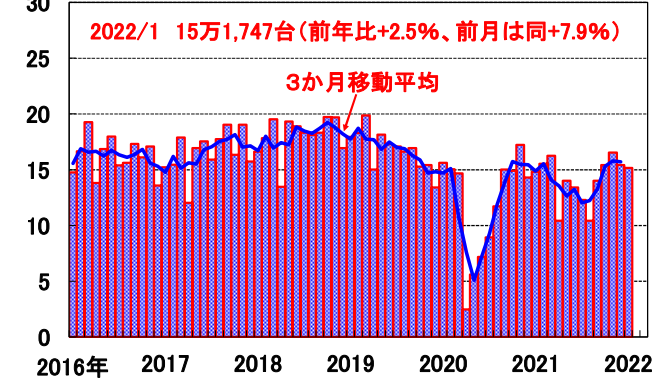
季調済
2016年=100

工業生産指数



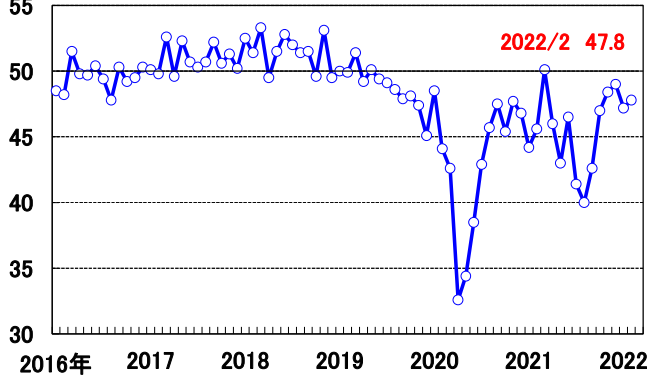
万台

自動車生産台数



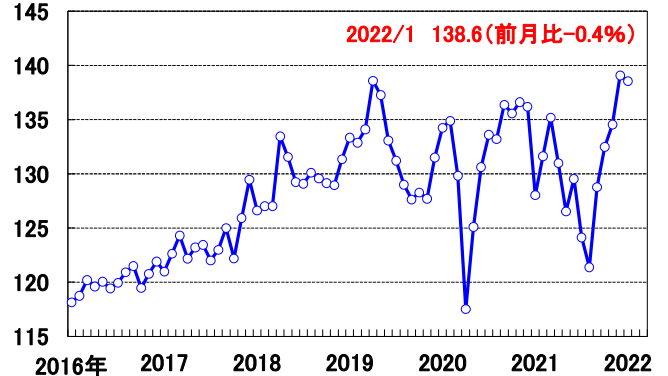
中立水準=50

企業景況指数(BSI)



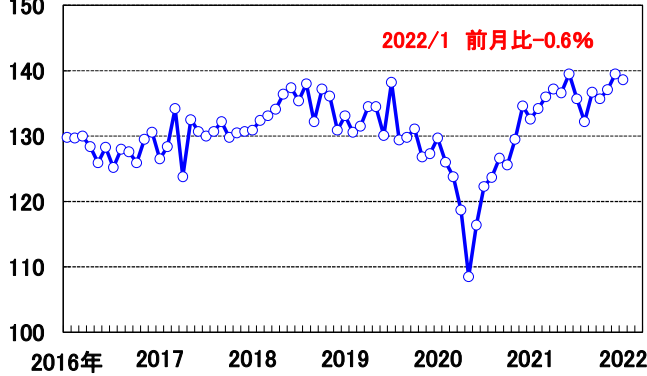
季調済
2010年=100

個人消費指数



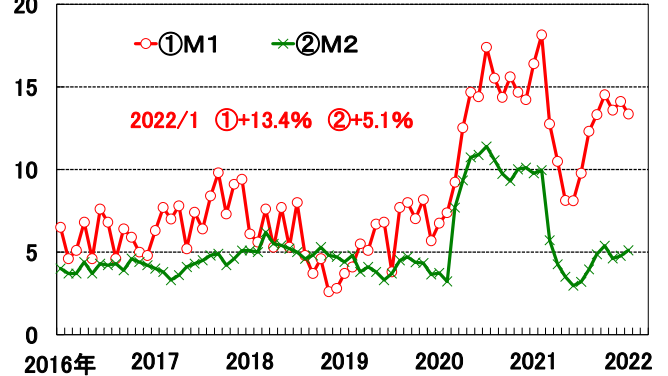
季調済
2010年=100

民間投資指数



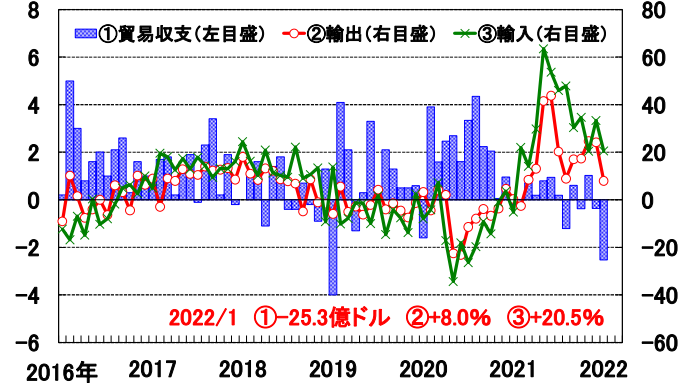
前年比、%

マネーサプライ



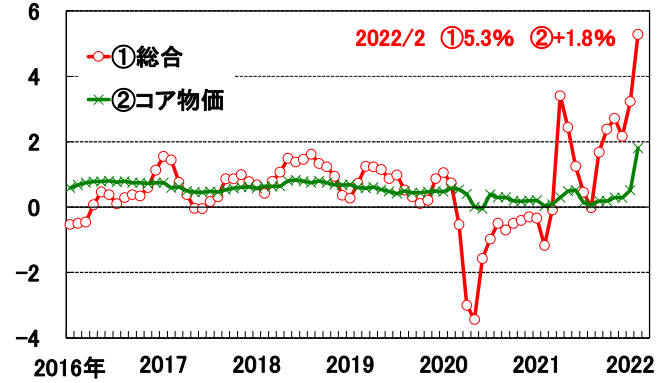
10億ドル

貿易収支



前年比、%

消費者物価指数



(出所) タイ工業省、タイ中央銀行、タイ国家統計局、タイ工業連盟 (FTI)

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。